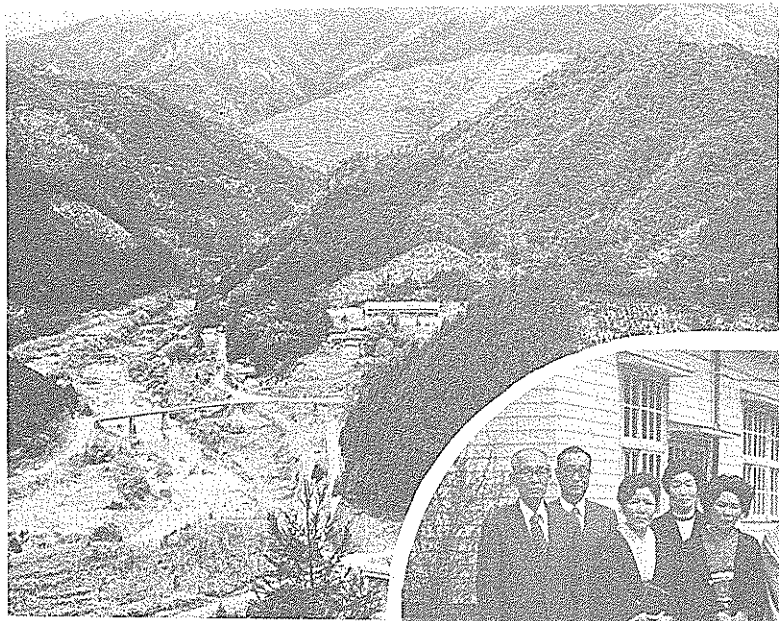


はばたけ 『3人組』

ボクもがんばるぞ!!

あおげば尊し

黒滝小の
卒業式



「長い間お世話になりました」「りっぱな中学生になってね」「ほたるの光」のメロディにつけて、みんなの暖かい拍手に送られて卒業生が退場する。



式を終え、校庭で記念写真。卒業した三人は四月から北陵中学校に入学することになり、れいめい寮での新しい生活が始まる。彼らの心はもう新学期のことではないかも。がんばれ三人組。

三月二十四日。まだ春寒い黒滝小学校の卒業式だ。卒業生は、西村龍二くん、中山勇一くん、谷口修二くんのハッスル三人組。在校生は、この四月に五年生になる吉村義文くんだ。かつて、十年前には小学校、中学校の学び舎が並び、活気ある黒滝の里に、七十二人の子供たちはあしたへの夢を託した。

「わんぱくをして足を折ったこと、ケンカをして泣いたこと、楽しい修学旅行の思い出。今となっては懐かしいことばかり、家族のようなみんなと別れわかれになります。ボクたちのことを思い出してください。また、休みには四人で楽しく遊びましょう。言葉の一つひとつに心の暖かさがにじみ出る、はばたけ『三人組』。お兄ちゃん、のはげましの言葉に、長髪をパッとあげて吉村くんはキッパリと言った。

「今日まで、良き先輩として、良き友人として、長い間勉強を教えてくれてありがとう。これからもお兄ちゃんたちに負けないようにガンバリます。」



校長先生、PTA会長から卒業証書、記念品が卒業生一人ひとりに手わたされる。式の始まる前には元気にさわいでいたが、がらりと変わりみんな緊張そのものである。



式も終わりに近づく。『あおげば尊し』をみんなで合唱。わが子の卒業に、思わず目がしらをおさえる父兄も。

「卒業おめでとう。生徒数は少なかったがみんな家族同様にいっしょうけんめいに勉強し、この学校をよくしてくれました。これからは自分を大切に、そして思いやりのある人に——」と谷校長。

